

小学五年

国語

解答と解説

1

問一	エ	21
問二	ア	22
問三	③	(各5点)
	イ	
	⑪	
	ウ	23

問四	エ	24
問五	受ける	24
	つ	
	て	25
問六	ウ	26
問七	ウ	27

問八	イ	28
問九	A	(各5点)
	イ	
	B	
	エ	29
問十	ア	30
問十一	日	
	来て	
	た	
	。	31

2

問一	1	
	ウ	32
	2	
	情報	
	報	
	処理	
	を	33
問二	②	(各5点)
	オ	
	⑨	
	イ	
	⑩	
	ウ	34

問三	A	
	ー	
	ヤ	
	コン	35
問四	ウ	36
問五	ウ	37
問六	イ	38
問七	ア	39

問八		
る	を	そ
よ	提	の
う	案	人
考	し	が
え	た	思
た	り	い
り	、	つ
し	暮	く
て	ら	前
く	し	に
れ	が	好
る	快	き
点	適	な
。	に	も
	な	の

(配点)
 ① 各5点
 ② (問八) 8点、(問十) 2点、他各5点 } 計150点
 ③④⑤ 各2点

⑥	①	①	④	①	問九
松 林	永 久	イ	主	主	単
61	56	51	才	工	純
⑦	②	②	述	述	作
炭 酸	別 件	ウ	ア	才	業
62	57	52	⑤	②	や
⑧	③	③	主	主	問十
包	季 節	ア	ア	工	工
63	58	53	述	述	44
⑨	④	④	力	力	45
限	給 油	工	(株主)	③	
64	59	54	(株主)	主	
⑩	⑤	⑤	(株主)	×	
老	司 法	イ	(株主)	述	
65	60	55	(株主)	力	
			50	47	
				48	

【解説】

1 いとうみく「グッバイ」「ちいさな宇宙の扉のまえで
続・糸子の体重計」所収(童心社)から出題しました。
境遇があまりに違う同級生への嫉妬から、相手を傷つけて
してしまうほど感情を爆発させてしまう「オレ」の心の動きを
丁寧に読みとりましょう。

問一 B1 具体化 比較

——線①直前の「机にぶつかりながら飛んできた」、直後の
「鼻息を荒く」などの表現から、安達と根岸が非常に
興奮していることを読みとりましょう。その後の安達の発
言から、イ「楽しくて」、ウ「不安がって」などは読み取れ
ません。

問二 B1 具体化 比較

——線②の直前で、特段その話題にくいつきもせず、
「あーうん、と曖昧にこたえ」た「オレ」に対し、根岸は
「滝島、知ってたのかよお」と言っています。根岸は、「オレ」
が受験のことを知らず、この話題にもっとくいついてくれ
ると思っていたのに、そうではない反応をされたので「不
服」なのだわかります。イ「真下が：受験する理由を教
えようとしなさい」、エ「真下の受験を」「オレ」が信じよ
うとしない」は本文からは読み取れません。また、ウ「真
下から一緒に中学受験をしよう」と「オレ」だけがさそわれ
ていた」ことを根岸は知りませんので、これも不適切です。

問三 B1 関係つけ 比較

前後の文脈から空欄にあてはまることを考えます。

③ 「意外なやつが ③ …いい出してびっくり」と
ありますので、ここには、イ「ひよっこり」が入ります。

①① 「長中に行こうが、私立に行こうが、マゲの自由
だ」とありますので、「オレ」は受験は他人が口だしするも
のではなく、本人が決めることだと考えていることがわかり
ます。ここには、あれこれと、なんの καν のと、という意味
のウ「とやかく」が入ります。ア「あいにく」とは「運悪く」
という意味、エ「ろくろく」は「十分に」「満足に」という
意味です。基本的に「ろくろく話もできない」などのように
下に打消しのことはつきません。

問四 B1 理由 比較

——線④のように安達が「ふてくされた」のは、「オレ」が
安達に同調せず、「野球やりたいなら入れればいいじゃん。て
か、安達って陸上やりたいっていつてなかったっけ？」と言
ったからです。一緒に部活に入る友達が急にいなくなった、
ということに怒っていて、同情してほしい安達にとつて
は、部活のことで真下を責める理由を正論で封じられて
しまったということになります。ですから、「ふてくされ
た」のでしよう。ア「きびしく責め立てる」「さびしさ」、イ
「本当は陸上部に入りたかったことを思い出し、中学に陸上
部がないことを改めて残念に思った」は本文中から読み取れ
ません。また、ウは「同じ中学に行つたって…廊下で声を
掛け合うだけの関係になることだつて、安達も…わかつて
いるはず」と書かれてあることから、安達は、「真下といつ

までも一緒にいたい」という思いではなく、一緒に部活に入る友人がいれば安心だという思いの方が強いと考えられます。

問五 **B1** 置換

「オレ」は部活を何にするか考えるとき、自分のやりたいことよりも、お金のことを考えています。今までも経済的な理由で自分の行動が狭まる体験をしてきたのでしよう。真下に受験しないかと誘われたときに、やるかやらないかというより、「受けるっていつてもただじゃない」と、お金のことをまず考えています。※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問六 **B1** 理由 比較

ある人物の行動の目的を問われたときは、その後でその人が何をしているかを確認しましょう。「オレ」は、真下に「な、安達たちにちゃんと話したほうがいいんじゃないか」と提案しています。また、空欄⑩の前後で、「長中に行こうが、私立に行こうが、マゲの自由だ。…いいじゃん受験。がんばればよ、受かるといいな。そういうつもりだった」とあります。「オレ」は安達たちと真下の仲立ちをして、かつ真下の受験を応援していると伝えるつもりだったことが読み取れます。ですから、答えは、ウだとわかります。ア・イ・エには「オレ」の応援の気持ちが示されていません。

問七 **B1** 具体化 比較

険があるとは、ものの言い方などがきつい、冷たい感じが

する、という意味です。「オレ」が「険のある」と感じたのは、真下の「(安達たちみたいに)のんきに…あそんでるヒマないわけよ」という言葉です。そこには、自分は受験をするから、公立に進む人たちとは違う、という気持ちがあらわれています。そこに、「オレ」はきちんときたのでしよう。ア「ばかにして」、イ「なげかわしさを感じて」、エ「しらくらしく思つて」の部分それぞれ適当ではありません。

問八 **B1** 理由 比較

「急にうつとうしく」とあるので、——線⑧の直前でどのようなことがあったのかをきちんと読みとりましょう。そこには、参観日に熱心に足を運ぶ真下の母親と、小学校の最後の参観日すら二日酔いで来ない「オレ」の母親のこと、そして、母親が来なかったことをつらく思つても、母親にはその気持ちを伝えられない「オレ」のことが書かれています。また、——線⑧の直後で、マゲの母親を悪く言い「黒いものが内側からせりあがってきた」とあります。ここから、「オレ」は、母親にわかりやすい形で愛されている真下に嫉妬していることが読み取れます。ア母親のことにふれられていないので不適切です。ウ「母親を…拒否できない真下のことを、情けないやつだと思えてきた」、エ「母親のいいなりになって友人をないがしろにする真下に腹がたつてきた」からも嫉妬の気持ちが読み取れないので不適切です。

問九 **B1** 具体化 比較

——線⑨の前の六行に注目しましょう。そこには、自分の母親のことを悪く言う「オレ」の言葉を静かに怒りなが

ら断ち切る真下の姿と、「オレ」の気持ちが表示されています。そこには「オレのことはを断つマゲの静かな声音に、ぎくりとした。：マゲに対してうしろめたいことをいつたつもりもない：そうだろうか。いまいったことは奥に、なにもふくんでいないと胸を張っていえるだろうか」とあります。嫉妬心から真下を攻撃したことに罪悪感をいだいていることが読み取れます。

問十 B1 具体化 比較

——線⑩の直前で、真下の声が「キシキシ」という「不快な音」に聞こえる、と繰り返されて注目に注目です。その前後には、野球をやりたいという息子のために母親が「いろいろ調べてた：先生にも相談してた」こと、「母ちゃん喜ばせたい」と母親の期待に応えようとする真下のことが書かれています。息子の将来を思い、あれこれ環境を整える経済的な余裕も行動力もある真下の母親と、その思いを素直に受け取る幸せそうな真下。「オレ」の置かれている環境とは全く違います。それをまざまざと見せられたことで、嫉妬だけでなく行き場のない怒りを感じたことが読み取れます。また、——線⑩直後に「自分の声じゃないような低い声が、鼓膜をゆらす」とあるように、「オレ」が我を忘れて、真下に自分の怒りをぶつけていることが読み取れます。イ「裏切られたという怒り」、ウ「自分で物事を決められない人だったという事に気づき、ふがいない友人たちとうんざり」、エ「じまん気に語る」などの部分がそれぞれ不適切です。

問十一 B1 関係づけ

脱文挿入の問題では、戻す場所を特定できる言葉を見つけてことができるかどうかのポイントになります。今回の場合は、「三日ずつしか来なかった」です。「来なかった」のは真下の母親で、参観日に来なかったのだからとあたりをつけることができます。また、「今年は」とあるので、五年生の参観日のことが書かれた後に入るということがわかります。※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

2 元村有希子『カガク力を強くする！』（岩波書店）から出題しました。AI（人工知能）に関する文章は昨今多くみられます。AIとそれをとりまく状況、「二〇四五年問題」、そして人間にとって「有能すぎる相棒」であるAIとどうつきあうか、ということが話題の中心です。一見とつきにくいかもかもしれませんが、わかりやすい具体例を多く出しながら説明が進んでいくので、例の部分とまとめの部分を意識して問題に取り組みましょう。

1 問一 B1 具体化 比較

——線①「AIを活用した製品やサービス」については、（中略）以降から具体例が出されていますので、列挙していきます。①スマートフォンに搭載されている「秘書アプリ」、②AIが搭載されたカーナビ、③カスタマーセンターの対応をするAI、④AIが搭載された家庭用ロボット、⑤新聞記事を書くAI、⑥AIが搭載された空港の清掃ロボット

ト、⑦企業の採用の際の書類選考をするAI、というように、七例が出されています。

2 B1 理由 置換

AIが「世間をにぎわ」すほど利用されている背景にあるものを答えます。1で列挙したのは「AIを活用した製品やサービス」の例ですから、この例が書かれた段落ではなく、まとめの段落を読みましょう。そこには、「(AIの)ブームを支えているのは」とあり、これは、「AIが『世間をにぎわ』すほど、『使われている背景』は」と同意の表現です。ですから、答えは、その直後にある「情報処理を担うコンピューターの性能向上と、インターネットの進展」です。※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問二 B1 関係つけ 比較

接続する言葉の問題です。空欄の前後の文の関係を読みとります。②の直前まで、AIがさまざまな分野で使われている例が挙げられています。②の後で「『第三のブーム』を迎えています」とあるので、ここにはまとめるときに使う「このように」が入ります。⑨の前には「(それまでではいろいろなメディアが必要だったのが)今ではスマホ一台で済んでしまう」とあり、⑨の後で「膨大なデータを：取り出すことも可能」とあります。スマホの機能が多岐にわたることに加えて、情報をクラウドに保存し、使いたい時に使えるということが述べられているので、ここには「しかも」が入ります。⑩の前に「エアコンや冷蔵

庫などの家電製品にAIが搭載されてIoT：でつながり合う日はそう遠くない」とあり、⑩の後で、近い将来のAIが搭載された様々な家電製品の使われ方が例として挙げられていますから、ここには「たとえば」が入ります。

問三 B1 具体化 関係つけ

線③の二段落後に「二〇四五年問題は：」からはじまる段落があるので、その段落を読みましょう。すると、「AIや：人類の知識を総動員してもコンピューターに劣る状況」になる日が「二〇四五年までにやってくる」というカーツワイル氏の予測を、「二〇四五年問題」と言っていることがわかります。※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問四 B1 関係つけ 比較

④の後には、カーツワイル氏の予測の内容が三つあげられています。ですから、ここには「具体的」という言葉が入ります。「⑤」な思考といった人間の脳の高度な機能」とありますが、「一番最後の段落に、「抽象的な思考を使う仕事：は、(AIに)代替が難しい」とあるように「抽象的な思考」は、人間にしかできないということが示されています。

問五 B1 具体化 比較

⑦の次の段落に、「カーツワイル氏の：一体化する」という予測は：思い当たる部分もあります」とあり、その後、その根拠となる例が書かれていますので、その例を読

みながら、この部分のまとめとなる箇所を見つけましょう。すると、例が終わる⑨の次の段落がまとめとなる段落だとわかります。そこには「地球上の数十億人：『ビッグデータ』として蓄積され、『人間の脳』になる。それを個人が自由に使える時代がやってくる：そう考えると、この予測は『非現実的』と片付けられない」とあります。すなわち、スマホを通して、「人間の脳の活動」により、入力された情報が「ビッグデータ」となり、その「ビッグデータ」をあたかも自分の脳にある情報かのように「自由に使える」ということをさして、「人間の脳の活動はコンピュータ」と一体化し、人間の知能は飛躍的に拡大する」と言っているわけです。これと同じ内容を述べているのはウです。ア・イといった時間を「クリエイティブな：活動にあてられる」「高度な問題にむきあうことができる」とは本文中には示されていません。エ「スマホが快適で人間らしい豊かな生活を提案してくれる」の部分が不適切です。

問六 B1 関係づけ 比較

「アルファ碁」は人間のチャンピオンにも勝利し、過去の自分にも全勝するほどの能力を持っています。この分野では、「地球上の人類の知識を総動員してもコンピュータに劣る状況」になっている、すなわち「シンギュラリティ」がおこっている、と言えますから、答えはイです。

問七 B1 理由 比較

スマホは「外部脳」だということの例、すなわち、外部脳だといえる理由が、この段落を含む三段落であげられていま

す。それと選択肢を読み比べましょう。するとア「スマホはその情報を使って、正しい提案をしてくれる」ということはどこにも書いていないことがわかります。ですから、ふさわしくないものはアだといえます。

問八 B1 具体化 関係づけ

——線⑪直前の「使い続けることで：考えたりする」ということを受けて、AIを「有能すぎる相棒」と言っています。また、本文の「使い続けることで：蓄積され」の部分は、リード文の「その人の生活：膨大なデータから」とほぼ同意の表現ですから、「私が思いつく：」の後の部分を使い、「どのような点」かを問われているので、最後は「〇点。」で終わるように解答を作ればよいということになります。また、「私」はリード文にあわせて「その人」に変更することも忘れないようにしましょう。

※ 設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点3点とします。

問九 B1 具体化 置換

——線⑫の「日本の就労人口の四九%が従事している職業」は「AIによって代替が可能」なものです。この二段落後に、「ゼロから：中心になる仕事」はAIに代替が難しい、とあり、その続きに「一方」とあるので、これ以降に書かれるものがAIに代替可能なのだとわかります。そこには「単純作業や定型的な業務はAIが⑬代わりしやすい」

と示されています。※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問十 **A2** **知識** **比較**

問九でもふれています。⑬直前の「一方」に注目すれば、「⑬代わりしやすい」は「代替しやすい」の意味だと想定できます。ですから、ここには「肩」が入ります。「肩代わりする」とは、人の借金や仕事などをその人に代わって引き受けることです。

3 **A2** **知識**

主語・述語の問題です。述語を見つけてから、主語となる「誰が」「何が」を考えるようにしましょう。

③「(楽しみに) している」のは「私」ですが、この文では省略されています。

④倒置文です。本来の語順に直して考えましょう。述語は「Aさんだったのか」となり、誰が「Aさんだった」のかを考えると、「主は」が主語になるとわかります。

4 **A1** **知識**

ことわざの問題です。

- ① 根も葉もない…なんのよりどころもない。
- ② やぶから棒…とつぜんものごとをすること。ふいに、だしぬけに。
- ③ 馬の耳に念仏…いくら言っても効き目のないことのとたとえ。

④ 案ずるより産むがやすし…物事をおこなう前にあれこれ心配していても、いざやってみると案外簡単にできるものだということ。

⑤ 雨だれ石をうがつ…たとえ小さな力しくなくても、長い間続ければ成功することのとたとえ。